

歴史総合・日本史探究

問題 1 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

19世紀なかば、世界の交通ネットワークが一変し、世界の一体化が進んだ。その出発点にはイギリスで始まった産業革命がある。

イギリスの産業革命は綿織物業の機械化から始まったが、その最終段階において登場したのが鉄道であった。1825年に（あ）によって蒸気機関車が実用化され、さらに1830年に最初の旅客鉄道が開通すると、鉄道は陸上の公共輸送機関として急速に普及した。

一方、海上交通でも、（い）が発明した蒸気船が改良され、1870年代には帆船にとってかわった。鉄道や蒸気船は膨大な人や物を運搬できるだけでなく、定期的でスピーディーな輸送手段となり得たことも画期的だった。

1869年、スエズ運河^{x)}が開通すると、鉄道網と蒸気船の航路が結び付き、ヨーロッパとアジアが大幅に近づいた。それまで喜望峰^{y)}経由でイギリス・中国間は120日かかったが、スエズ運河を蒸気船で航行すると60日に短縮された。

こうした交通環境の飛躍的発展は「交通革命」と呼ばれているが、この交通革命はエネルギー革命に支えられたものだった。^{a)} また、交通革命の結果、19世紀なかば以降、移民など大規模な人の移動が多く見られるようになった。^{b)}

世界が一体化していくなかで、太平洋に積極的に進出したのがアメリカであった。1840年代、アメリカが西海岸を領有すると、太平洋の先にある中国^{c)}や日本と貿易を行なうことへの関心が高まった。さらに、1851年にアメリカで作成された^{d)}「WHALE CHART」という地図からも、アメリカにとって日本の港が必要だった理由が見えてくる。そして、江戸幕府が締結した条約により、開港場で欧米諸国との自由貿易が始まった。

「交通革命」は開港場を通して日本にも伝わった。鉄道は、日本最大の貿易港であった（ 1 ）と新橋をつなぐ路線から開業した。蒸気船も（ 1 ）から海外航路が開かれ、三菱が上海への航路を開いた。1885年には（ 2 ）会社が設立された。また、1893年には神戸と をつなぐ定期航路が開設され、大量の綿花が輸入された。

19世紀なかばには、人や物だけではなく、情報の伝達にも大きな変化があった。

モース（モールス）らによって発明された（ 3 ）が世界各地に普及するなか、長崎・上海間にも海底ケーブルが開通した。（ 3 ）網を通じて世界中の情報が瞬時に伝達されるようになった。

問1 空欄（ あ ）（ い ）にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

[語群]

ア) ジョン=ケイ イ) フルトン ウ) スティーヴンソン エ) ワット

問2 空欄（ 1 ）～（ 3 ）にあてはまる語を記しなさい。

問3 下線部 X・Y について。下線部 X・Y それぞれの場所は次の地図中 a～d のどの場所にあたるか。その組み合わせとして、正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

地図



- | | |
|--------------|--------------|
| ① X—a Y—c | ② X—a Y—d |
| ③ X—b Y—c | ④ X—b Y—d |

問4 下線部 a) について。「この交通革命はエネルギー革命に支えられたものだった」とはどういうことか、50字程度で説明しなさい。

問5 下線部 b) について。19世紀なかば頃からの移民に関して述べた文として、誤っているものを、次の①～③のなかから一つ選びなさい。

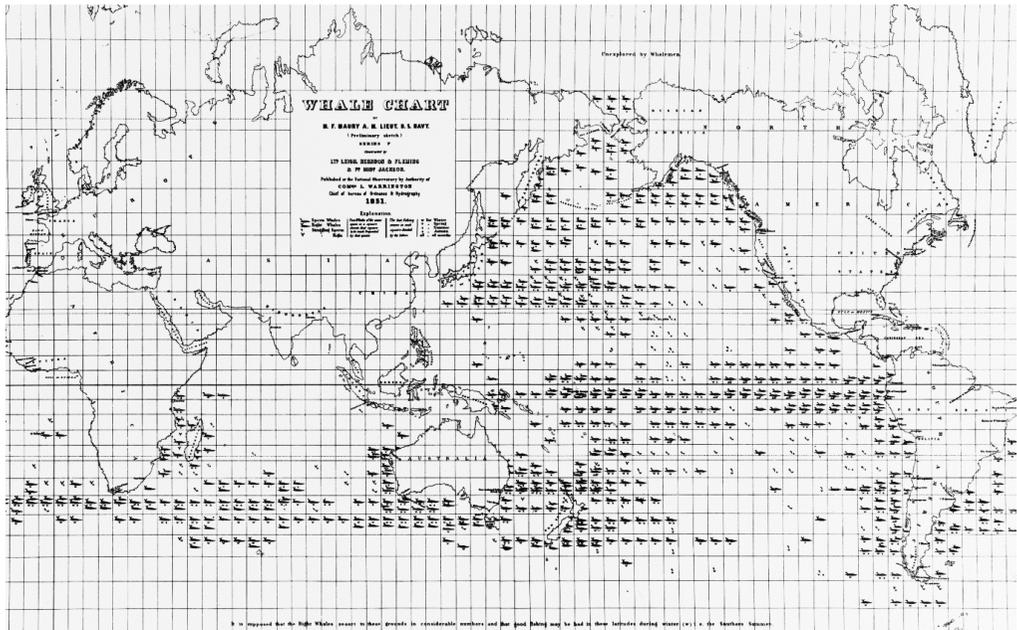
- ① フィリピン、ベトナム、タイなどに多くの日本人が移民し、現地に日本町を形成した。
- ② 華僑や印僑が増加し、彼らのなかには移住先で経済的成功を収める人々も現れた。
- ③ アメリカ合衆国の西部への領土拡大や人口増加にともなう州の成立を可能としたのは大量の移民であった。

問6 下線部 c) について。19世紀の中国に関して述べた文として、誤っているものを、次の①～③のなかから一つ選びなさい。

- ① アヘン戦争の結果、香港島がイギリスに割譲された。
- ② 対等な内容をもつ日清修好条規が締結された。
- ③ 洋務運動と呼ばれる外国人排斥運動が拡大した。

問7 下線部 d) について。次の図は、1851年にアメリカで作成された「WHALE CHART」である。この図とアメリカの対日政策やその背景について述べた文として、誤っているものを、下の①～③のなかから一つ選びなさい。

図 WHALE CHART, 1851 (図中の  はクジラを示している)



- ① この図から、太平洋が捕鯨漁の中心地だったことが読み取れる。
- ② この図が作成された頃、アメリカでは鯨は主に食料として人気があった。
- ③ この図が作成された後、ペリーは日本に捕鯨船員の保護を求めた。

問8 空欄 A について。空欄 A にあてはまる地名として、最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選びなさい。

- ① ウラジオストク ② ソウル ③ ボンベイ (ムンバイ)
- ④ マニラ

問題2 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

A 7世紀から9世紀にかけて、日本（倭）は遣唐使^{a)}をさかんに派遣した。遣唐使とともに留学生^{b)}なども渡海し、儒教や仏教、法律などの書物や知識を日本にもたらした。遣唐使の文化面での成果としては、753年に唐の僧鑑真が来日して（あ）を伝えたことや、9世紀初頭に唐で仏教を学んだ（1）が天台宗、（2）が真言宗を開いたことが挙げられる。やがて9世紀後半には唐の商人が日本に頻繁に来航するようになり、894年に遣唐大使に任じられた菅原道真は遣唐使^{c)}の中止を提案した。

B 室町幕府の3代将軍足利義満は日明貿易^{d)}を始めた。この貿易は、明から交付された（3）と呼ばれる証票を用いたため、（3）貿易ともいう。この貿易により、日本には銅銭^{e)}や生糸などがもたらされた。1523年には日本の細川氏の船と大内氏の船が明で衝突した（い）の乱が起こり、16世紀なかばに大内氏が滅亡して日明貿易も断絶した。一方、この時期には（4）と呼ばれる海賊が活発に活動しており、彼らは各国の間で密貿易を行っていた。やがて日本を統一した豊臣秀吉は、海外進出を目指し、朝鮮への侵略^{f)}を実行した。

問1 空欄（あ）（い）にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

[語群]

ア) 神仏習合 イ) 三浦 ウ) 戒律 エ) 寧波

問2 空欄（1）～（4）にあてはまる語を記しなさい。

問3 下線部 a) について。以下の問いに答えなさい。

- (1) 日本は遣唐使以前から中国の王朝に使者を派遣している。6・7世紀に遣隋使を派遣した天皇は誰か、記しなさい。
- (2) 702年に遣唐使の派遣が再開されるまで、日本は約30年ほど遣唐使を派遣していない。そのきっかけとなった663年の出来事は何か、記しなさい。

問4 下線部 b) について。留学生であった吉備真備は、日本への帰国後、ある人物の政治顧問的立場として活躍している。藤原4兄弟の死後に政権を握っていた皇族出身のその人物は誰か、記しなさい。

問5 下線部 c) について。菅原道真が遣唐使の派遣中止を建議した理由として、唐の商人が頻繁に来航していたこと、航海が危険だったことのほかに、どのようなものがあつたか、10字程度で記しなさい。

問6 下線部 d) について。以下の問いに答えなさい。

- (1) 日明貿易の説明として最も適当なものを、次の①～③のなかから一つ選びなさい。
 - ① 足利義教が将軍であった時期は派遣が中断されていた。
 - ② 明の皇帝が日本の将軍を日本国王に任命した朝貢貿易であった。
 - ③ 日本は元と正式な国交を結んでいたため、それを引き継いで始まった。
- (2) 日本と同様に、琉球王国も明と貿易をしていた。琉球が行なっていた、他国から輸入した産品を別の国に輸出して利益を得る貿易形態を何というか、記しなさい。

問7 下線部 e) について。この時期は、中国や日本の民間で鑄造された粗悪な銅銭も出回っていた。こうした銭を何というか、漢字三文字で記しなさい。

問 8 下線部 f) について。次の史料は、豊臣秀吉が朝鮮侵略の序盤で記したものである。この内容も踏まえながら、朝鮮侵略の説明として適当なものを、下の①～④のなかから二つ選びなさい。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

史料

一、高麗都(注1) 去二日落居候、然る間 弥 急度御渡海成され、此度大明国迄までも残らず仰せ付けられ、大唐(注2) の関白職御渡し成さるべく候事、
一、大唐の都へえいりよ 叡慮(注3) うつし申すべく候、その用意有るべく候、

(『前田家文書』)

(注1) 高麗都：漢城、現在のソウル (注2) 大唐：明 (注3) 叡慮：天皇

- ① 秀吉は朝鮮に渡海し、関白に就任した。
- ② 秀吉は天皇を中国に移住させる計画を立てていた。
- ③ 秀吉の死まで戦争は続き、講和交渉は行なわれなかった。
- ④ 秀吉は朝鮮侵略のため、九州の肥前に名護屋城を築いた。

問題 3 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

16世紀後半になると、有力な戦国大名が領地を広げ、なかには京都にのぼって全国を統一しようとする者もあらわれた。尾張の大名だった織田信長は、1560年、領内に侵入してきた駿河の今川義元を（ あ ）の戦いでやぶり、その後、美濃の（ い ）氏を倒して肥沃な濃尾平野を支配するため、岐阜に本拠を移した。

1568年、信長は、援助をたのんできた、13代将軍足利義輝の弟である（ 1 ）を奉じて京都にのぼり、15代目の将軍職につけ、堺の豪商をおさえて都とその周辺を支配下におさめた。

1570年、信長は、（ う ）の戦いで、近江の浅井長政と越前の朝倉義景の連合軍をやぶり、さらに翌年、比叡山の（ え ）を焼討ちした。1573年には、挙兵した（ 1 ）が信長によって追放されたことにより室町幕府は滅亡した。1575年には、信長は大量の鉄砲を用いて甲斐の武田勝頼を（ お ）の戦いでやぶった。また翌年、信長は近江の琵琶湖の湖畔に（ 2 ）城を築き始め、天下統一の拠点とした。

1580年、信長は講和をはさみながら10年間にわたって敵対してきた石山（大坂）の（ か ）を屈服させ、畿内全域をほぼ支配下に置いた。1582年には武田氏を攻めほろぼし、甲斐・信濃・駿河・上野をも支配下に置いた。ところが、同年、家臣の明智光秀の謀反にあって、京都の（ き ）で自害した。

問1 空欄（ あ ）～（ き ）にあてはまる語句を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

[語群]

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|--------|
| ア) 姉川 | イ) 本願寺 | ウ) 毛利 | エ) 延暦寺 | オ) 桶狭間 |
| カ) 本能寺 | キ) 護国寺 | ク) 長篠 | ケ) 天目山 | コ) 斎藤 |

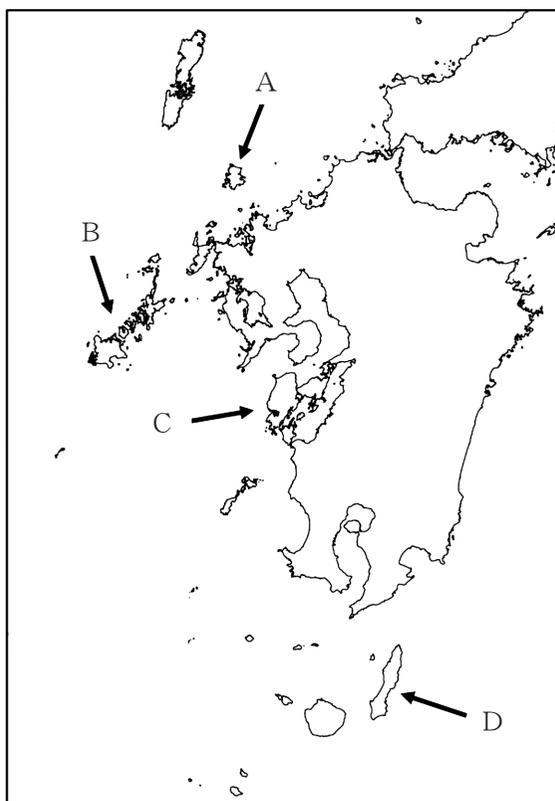
問2 空欄（ 1 ）（ 2 ）にあてはまる語句を記しなさい。

問3 下線部 a) について。信長は岐阜などの城下町で楽市令を出したと言われている。この楽市令に関する説明として、最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

- ① 信長は、楽市とする代わりに土木工事の負担を命令した。
- ② 信長は、商工業者の自由な営業を認めることにより、城下町の振興をはかろうとした。
- ③ 信長は、刀や脇差などの武器を没収することにより、社会秩序の安定をはかろうとした。

問4 下線部 b) について。1543年に中国商人の船に乗ったポルトガル人がある島に來航し、鉄砲をもたらした。この島は次の地図の A～D のどこか、記号で答えなさい。

地図



問題 4 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

1950年4月に吉田茂首相は、秘密裏にアメリカに早期講和を提案した。その内容はアメリカ軍の日本駐留を認めるというものであった。アメリカ政府はこれをきっかけに対日講和問題の検討を本格的に始め、同年9月、アメリカ大統領トルーマンが検討開始を公式に発表した。ダレスが特使として派遣され、彼は日本国憲法を改正した上での再軍備を要求したが、吉田はそれを拒否した。

講和について、(あ)などの保守系政党は、早期の独立のために西側諸国のみとの講和でもよいという単独(片面)講和論を唱えた。一方で(い)や学者の多くは東側諸国を含むすべての国と講和すべきという全面講和論を唱えた。(う)は全面講和の立場であったが、条約の批准をめぐる党内対立が生じて、左右両派に分裂した。

1951年9月、アメリカの(1)で対日講和会議が開かれ、8日に(1)平和条約が締結された。この会議には主要交戦国である(え)を代表する政府は招かれず、ソビエト連邦は会議には参加したが、条約内容に反対して署名をしなかった。結局、日本は単独講和によって独立を回復することになったのである。

平和条約同日、日米安全保障条約も調印された。講和後も引き続きアメリカ軍に日本駐留を認めるものであった。1952年4月28日、二つの条約が発効し、日本は約7年ぶりに独立した。アメリカは日本の再軍備化をもとめ、1952年10月に警察予備隊が拡張されて、(お)隊が設置された。

平和条約締結後、吉田内閣は労働運動や社会運動をおさえるため、1952年の血のメーデー事件をきっかけに破壊活動防止法を成立させた。1954年にはアメリカから兵器や農産物などの援助を受けるかわりに、自衛力の増強を義務づけられることになるMSA協定も締結した。これにより同年7月には自衛隊が発足した。(い)や(う)などの革新勢力は、このような動きを占領期の民主的な改革を否定する「(2)コース」として、積極的な反対運動を展開した。例えば、石川県の内灘や東京都の砂川などでは、アメリカ軍基地反対闘争が行なわれた。またいわゆる「第五福竜丸事件」が起これると、核兵器に反対する(か)運動が高まりをみせた。

政界では公職追放が解除され、(き) や岸信介らの有力な政治家が復帰した。(き) は (あ) を離党して、彼自身を総裁とする日本民主党を結成し、吉田内閣を退陣に追い込んで第一次内閣を成立させた。

この内閣が憲法改正や再軍備の動きをみせると、左右両派に分裂していた(う) が統一して、これに反対した。保守陣営でも合同への動きが早まり、日本民主党と(あ) が合流して、自由民主党が結成された。その初代総裁に(き) が就任した。このようにして、保守・革新の二大政党対立の時代が到来した。保守勢力は憲法改正と再軍備、もしくは対米依存のもとでの安全保障を追求し、(う) などの革新勢力は憲法擁護と非武装中立を主張した。二大勢力とはいうものの、自由民主党が3分の2程度の議席を占め、(う) はその2分の1程度しか議席をもたなかった。このような保革対立のもとでの保守一党優位の体制を、(3) 年体制と呼ぶ。

問1 空欄(あ) ～(き) にあてはまる語句を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

[語群]

- | | | | |
|----------|----------|------------|---------|
| ア) 原水爆禁止 | イ) 日本共産党 | ウ) 日本社会党 | エ) 自由党 |
| オ) 保安 | カ) 高橋是清 | キ) 鳩山一郎 | ク) 石橋湛山 |
| ケ) 中国 | コ) 韓国 | サ) 国民精神総動員 | |

問2 空欄(1) ～(3) にあてはまる語句を記しなさい。